学校番号	1007

令和　8　年度　　情報 科

教科	情報	科目	情報デザイン	単位数	2	年次	3
使用教科書	情報デザイン（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報デザインに関する応用的な知識理解と技術の取得を目指します。身に付けた知識と技術を用いて、自ら考え、判断し、表現する学習を行います。授業は講義形式や実習形式で進め、単元の最後には何を学び身に付けたかの振り返りを行います。授業の課題や実習への取り組み状況、実習作品で評価します。
・実習では情報機器の操作だけでなく、相手の立場に立って情報をデザインする態度について考えるなど、効果的な情報伝達の学習をするとともに、他者の作品を見て学び、自分の作品の評価・改善につなげ、学びを深めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
情報デザインの手法，構成，活用に関する課題を発見し，情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び，コンテンツやユーザインタフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について、体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	情報デザインの手法，構成，活用に関する課題を発見し，情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	情報デザインによる、効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び，コンテンツやユーザインタフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　デザイン・情報・造形の基礎	1節　デザインって何だろう	a:社会におけるデザインの役割や対象について理解している。デザインのプロセスについて理解している。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価　など ふりかえり　など
			b:人間中心設計のデザインを考えることができる。デザインによる課題解決の事例を説明することができる。			
			c:社会におけるデザインの果たす役割について、自ら学ぼうとしている。デザインのプロセスを用いて、主体的に課題の発見や解決の振り返りに取り組もうとしている。			
		2節　何をデザインするのか	a:情報デザインの意義や役割、対象について理解している。コミュニケーションモデルについて理解している。			
			b:効果的に課題を解決するための情報デザインを考えることができる。情報の送受信をコミュニケーションモデルで説明することができる。			
			c:情報デザインの対象について、自ら学ぼうとしている。コミュニケーションのモデルを用いて、自らの情報伝達やコミュニケーションの活動を振り返り、改善しようとしている。			
2学期	第2章　デザインと表現	1節　デザインの造形要素	a:形態の分類や特性について理解している。色の分類や特性について理解している。色彩を使った表現が人間の心理に与える影響について理解している。造形が人間の心理に与える影響について理解している。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価　など ふりかえり　など
			b:情報伝達やコミュニケーションにおいて、形態や色彩の効果的な活用について考えることができる。造形や色彩が人間の心理に与える影響を考慮して、課題解決に向けて造形や色彩を適切に選択することができる。			
			c:造形や色彩の要素を考慮して、自ら情報伝達やコミュニケーションの活動を振り返り、改善しようとしている。造形や色彩が人間の心理に与える影響を自ら学び、課題解決に活用しようとしている。			
		2節　観察と表現	a:観察の方法や視点について理解している。観察の結果を表現するときの考え方について理解している。造形の基本となる手法や表現技法について理解している。			
			b:観察の方法や視点を変えて対象を観察することができる。目的に応じて観察したり、観察の結果を表現したりすることができる。目的に応じて造形の手法や表現の技法を選択することができる。情報デザインの具体例から、造形の基本となる手法や表現技法を説明することができる。			
			c:観察の方法や視点について関心をもち、ねばり強く観察に取り組もうとする。造形や表現技法の視点から、自らの表現活動を振り返り、改善しようとしている。			
		3節　造形要素の構成	a:造形要素の構成の基礎となる手法やデザインの計画手順について理解している。情報をわかりやすく伝えるための手法について理解している。情報を印象的に伝えるための手法について理解している。			
			b:目的に応じて適切に造形要素を選択することができる。わかりやすく情報を伝達するための造形要素の構成や配色を考え、選択することができる。印象的に情報を伝達するための造形要素の構成や配色を考え、選択することができる。			
			c:造形要素の構成の基礎となる手法について自ら学び、情報伝達を振り返り、改善に取り組もうとしている。効果的に情報伝達やコミュニケーションの演出ができるように、造形や色彩のさまざまな手法を試行錯誤しながら、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			

3学期	第3章　デザインの実際	1節　デザインの検討	a:情報デザインのための情報収集や課題の導出の方法について理解している。情報デザインのコンセプト立案の方法について理解している。情報の分類、構造化の方法と表現について理解している。情報の収集、コンセプトの立案、情報の組み立てなど、具体的に情報デザインを検討するための技法を身に付けている。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 自己評価／ 相互評価　など ふりかえり　など
			b:情報を収集し、収集した情報から解決すべき課題を発見することができる。目的を明確にして、情報デザインの手法で創造的にコンセプトを考えることができる。目的に応じて、情報を構造化して情報デザインを構築することができる。			
			c:情報の収集とコンセプトの立案について自ら学ぼうとしている。立案したコンセプトに基づいて情報を構造化して表現していくことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
		2節　デザインの活用	a:情報デザインの役割やインタフェースの工夫、デザインにかかわる権利について理解している。インフォグラフィックスやWebページなどメディアのビジュアルデザインについて理解している。インタラクティブメディアの設計、機能、特性について理解している。			
			b:社会や身のまわりの情報伝達やコミュニケーションの課題について、発見することができる。目的に応じて、ビジュアルデザインやインタラクティブメディアの活用を考え、適切に選択してデザインを創造することができる。			
			c:目的を踏まえ、情報デザインを用いた課題の解決に、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。ビジュアルデザインやインタラクティブメディアなど、メディアの特性を生かした情報デザインについて、自ら学ぼうとしている。			
		総合演習1 情報の理解を助けるデザイン	a:クラスペーパーをデザインする手法や手順について理解するとともに、制作する技術を身に付けている。クラスの情報をWebサイトで発信するためのWebサイトの構造やデザインの工夫について理解するとともに、制作する技術を身に付けている。			
			b:造形やグラフィックスニュースの技法を活用し、情報の理解を助けるクラスペーパーを制作する表現活動を行うことができる。目的に応じて、Webサイトの構造を構想し、Webデザインを工夫してクラスの情報を発信することができる。			
			c:クラスペーパーの効果的なデザインについて自ら学び、クラスペーパーの制作に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。Webサイトの構造について自ら学び、クラスの情報発信のためのWebサイトの構築に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
		総合演習2 ショップをデザインする	a:お店と顧客をつなぐショップカードやポスターなどのコミュニケーションメディアや、Webサイトをデザインする技術を身に付けている。			
			b:習得した知識や技能を活用してコミュニケーションメディアやWebサイトをデザインし、ショップの活性化の課題を解決することができる。			
			c:コミュニケーションメディアやWebサイトのデザインを自ら行い、情報メディアを用いたショップ活性化の課題解決に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			